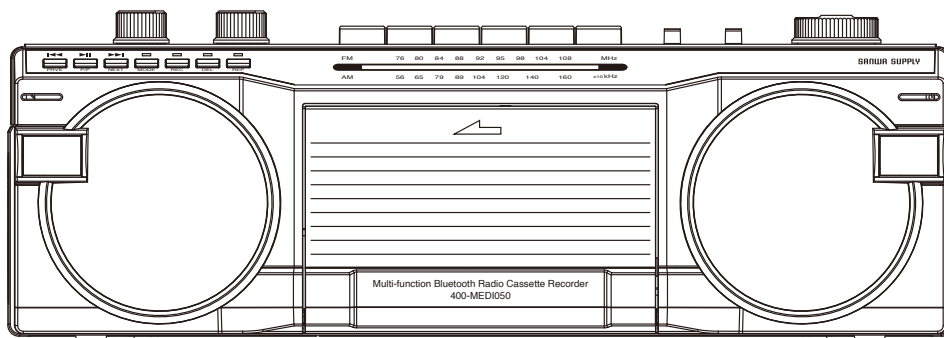


Bluetooth®搭載 ラジオカセット変換プレーヤー 取扱説明書



この度は、Bluetooth®搭載ラジオカセット変換プレーヤー「**400-MED1050**シリーズ」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①ラジオカセット変換プレーヤー 1台
- ②電源コード 1本
- ③取扱説明書・保証書(本書) 1部

※欠品や破損があった場合は、**品番**(400-MED1050BKなど)と
上記の番号(①～③)と**名称**(電源コードなど)をお知らせください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。

本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

はじめに 1

安全にお使いいただくためのご注意	1
著作権について	1
ご使用になる前に	2
・電源について	2
・カセットテープについて	4
・USBメモリ・SDカードについて	5
各部の名称	6

使ってみる 8

カセットテープを再生する	8
・カセット操作部の基本機能(再生時)	9
USBメモリ/SDカードの音楽ファイルを再生する	10
・Bluetooth・SD・USB操作部の基本機能(再生時)	11
ラジオを聴く	12
・受信状態を良くする方法	13
カセットテープからUSBメモリ/SDカードに録音する	14
USBメモリ/SDカードからカセットテープに録音する	16
内蔵マイクからカセットテープに録音する	18
内蔵マイクからUSBメモリ/SDカードに録音する	19
USBメモリ/SDカードに録音されたMP3データを消去する	19
ラジオをカセットテープに録音する	20
ラジオをUSBメモリ/SDカードに録音する	21
Bluetooth機器から音楽を再生する	22
イヤホン・ヘッドホンの使い方	24

お手入れする 25

お手入れの仕方	25
・ヘッド部の清掃について	25
・キャビネットの清掃	26

故障かな?と思ったら... 27

仕様 29

保証について 30

保証規定	30
保証書	30

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

■絵表示の意味

 警告	人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容
 注意	人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容
	注意していただきたいことを記載しています。

警告

- 分解、改造はしないでください。〈火災、感電、故障の恐れがあります〉
※保証の対象外になります。
- 水などの液体に濡らさないでください。〈火災、感電、故障の恐れがあります〉
- 本体に異常がある場合は使用を中止してください。〈火災、感電の恐れがあります〉
- 小さな子供のそばでは本製品の取外しなどの作業をしないでください。〈小さい部品を飲み込む危険性があります〉
- 電源コードが傷んだ際は、使用を中止してください。〈火災、感電の恐れがあります〉
- 本体や電源コードの上に重いものを載せないでください。〈火災、感電、故障の恐れがあります〉

注意

- 次のようなところで使用しないでください。
(1)直接日光の当たる場所 (2)湿気や水分のある場所 (3)傾斜のある不安定な場所
(4)静電気の発生する場所 (5)通常的生活環境とは大きく異なる場所
- 電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らないでください。〈火災、感電、故障の恐れがあります〉
- 音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響をおよぼす恐れがあります。
- お手入れについて
(1)清掃する時は電源を必ずお切りください。(2)機器は柔らかい布で拭いてください。
(3)シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

■ Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。
- 良好な通信のために
●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと、通信不能場合があります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

著作権について

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれから録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

1.ご使用になる前に

電源について



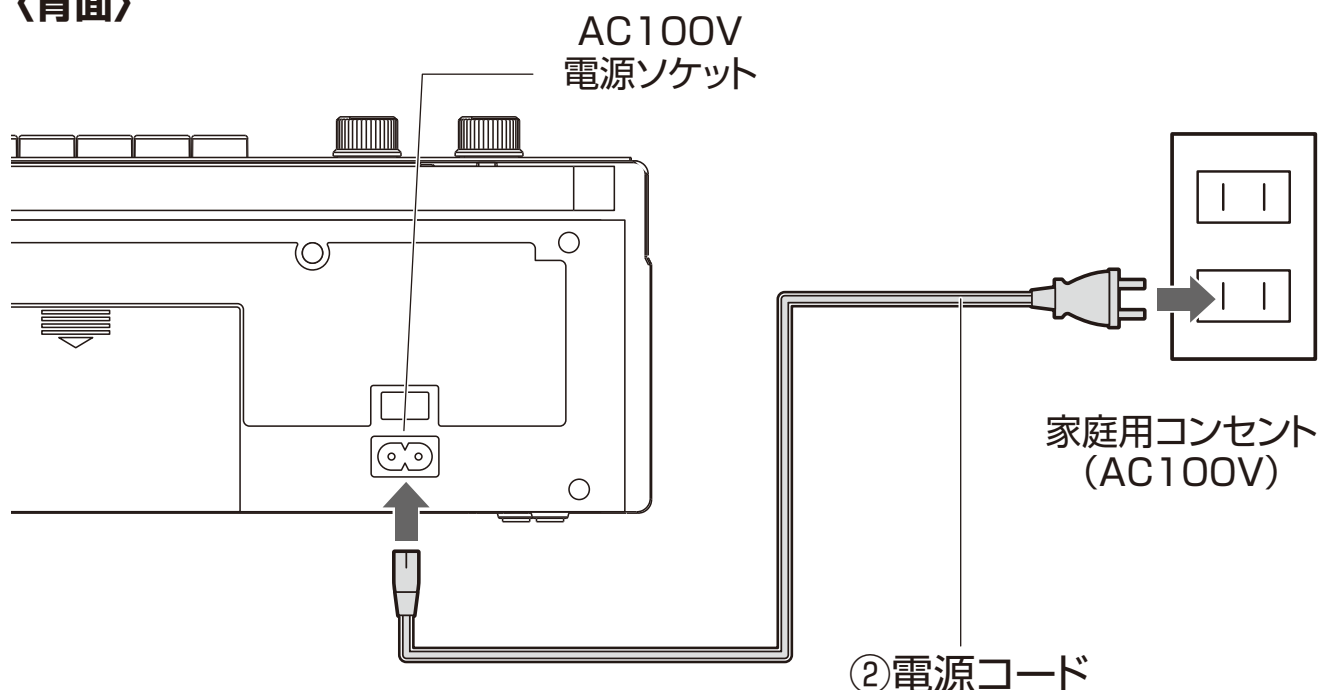
- 電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れする時は、FUNCTIONスイッチが「TAPE/OFF」側になっている状態で行ってください。※P.6、7「2.各部の名称」でスイッチをご確認ください。
- 電源を入れる前に、音量を小さくしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 付属の電源コードは本製品専用です。電源コードで本製品をご使用の際には、必ず付属のものをご使用ください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

■ 家庭用電源で使用する場合

付属の電源コードで本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

- 乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切替ります。
- 本機を使用しない時は電源コードをコンセントから外してください。

〈背面〉



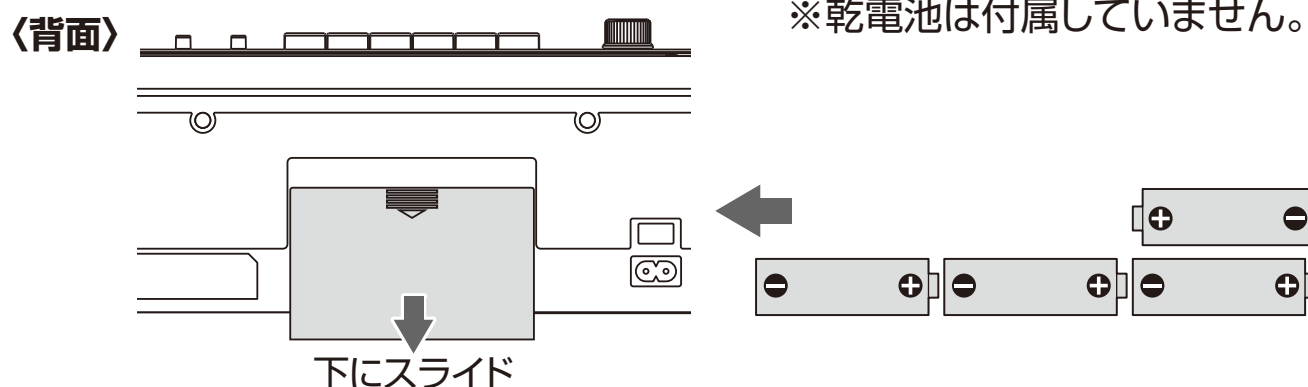
■ 乾電池で使用する場合

- アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
- 電池カバーを外し、乾電池の ⊕ と ⊖ を間違えないように、単二乾電池を4本入れます。

※長時間使用する時や大切な録音をする時は、付属の電源コードを使用してください。

- (1) 本体背面の電池カバーを下にスライドして開けてください。
- (2) 乾電池の向きを下の図のように正しく入れてください。

※乾電池は付属していません。



⚠ 注意

- 乾電池で使用する場合、使わないときは必ずFUNCTIONスイッチを「TAPE/OFF」にしてください。(「RADIO」や「USB」にしたままだと電池の消耗が早くなってしまいます。)

乾電池を安全にご使用いただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

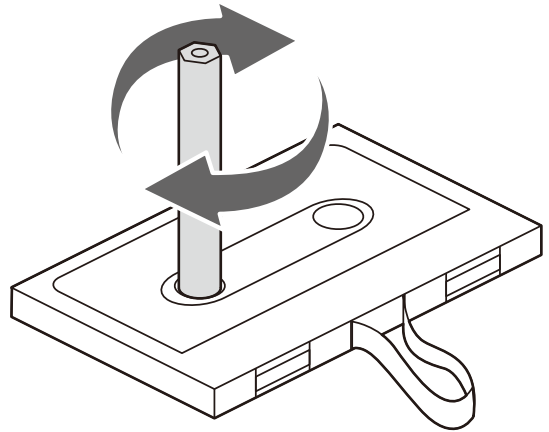
⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠ 注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は乾電池を取外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがある時にはそれに従って廃棄してください。

カセットテープについて

⚠ カセットテープの取扱上の注意点

- テープのたるみは、テープの巻きつきや切断の原因になります。
- テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
- カセットテープを入れたままにしたり、再生・録音状態のまま電源を切らないでください。テープが回転部分に密着したままになるので、からみや巻きつきの原因となります。カセットテープは必ず取出して保管してください。
- テープ動作中の巻戻し・早送り操作は、テープ巻きつきの原因となることがあります。必ず停止させてから巻戻し・早送りの操作を行ってください。
- テープの損傷を避けるため、大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でご使用ください。
- エンドレステープは使用できません。



⚠ 録音時の注意点

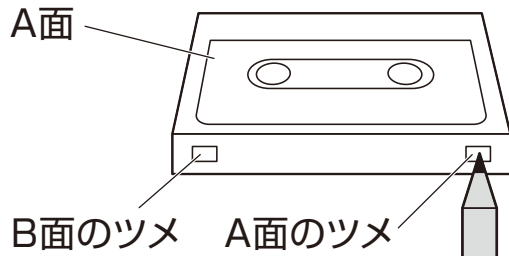
- ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合がありますのでご注意ください。
- ノーマルテープ(TypeI)をご使用ください。ハイポジションテープ(TypeII)やメタルテープ(TypeIV)には録音できません。また、ノーマルテープについてもC-60(60分テープ)までのテープを使用してください。C-90以上の長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれるなどのトラブルの原因になりますので、ご使用はおすすめできません。
- カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分(透明部)は録音ができません。録音前にこの部分を送ってください。

■ 大切な録音を消さないために

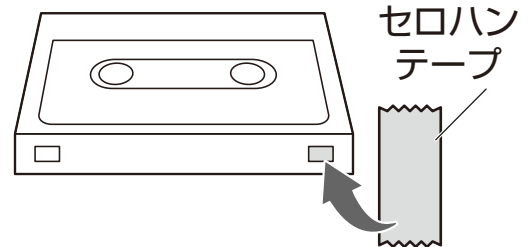
保存しておきたいテープの場合、カセットの後ろ側にある「ツメ」を折っておくと、間違って大切な録音を消去せずに済みます。

再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼り付けてください。

- 間違って消したくない時はツメを折る



- 再度録音したい時はセロハンテープで折った穴をふさぐ



USBメモリ・SDカードについて

USBメモリ・SDカードは32GBまでのタイプを推奨します。

再生可能なファイル形式はMP3です。

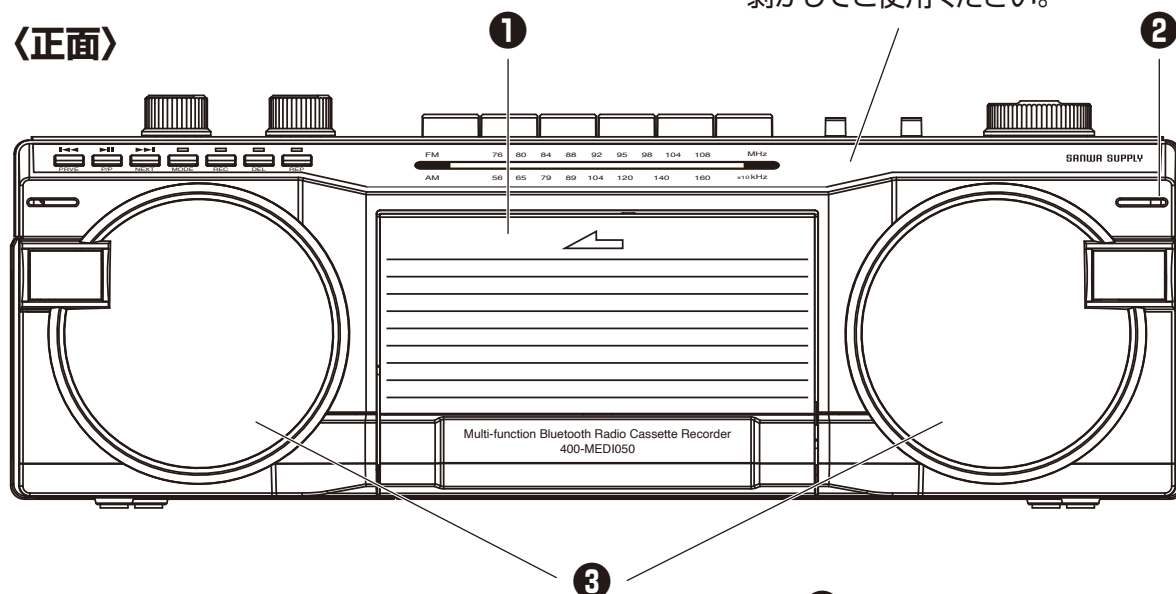
- USBハブやUSBカードリーダーは使用できません。USBメモリはUSB Aポートに、SDカードはSDカードスロットに直接差し込んでご使用ください。
 - USBメモリ・SDカードの仕様/フォーマット形式やご使用状況により、正常に再生されなかったり、またはご使用になれないことがあります。
 - 不具合の原因となりますので、動作中のUSB Aポートには触れないでください。また、抜き差しする際は、FUNCTIONスイッチが「TAPE/OFF」になっている状態で行ってください。
 - USB端子は再生専用です。充電機能は搭載されておりません。
 - DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。
 - メモリのフォーマット機能はありませんので、パソコンなどで行ってください。(ファイルシステムFAT32対応)
 - 持ち運び時は、不具合や破損を避けるため、USB Aポートからメモリを取外すことをおすすめします。
 - 本製品の取付け、取外しをする時には必ずUSBメモリ内のデータはすべてバックアップをしてください。
- ※特に修復・再現のできない重要なデータは必ずバックアップをしてください。
- ※バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2.各部の名称

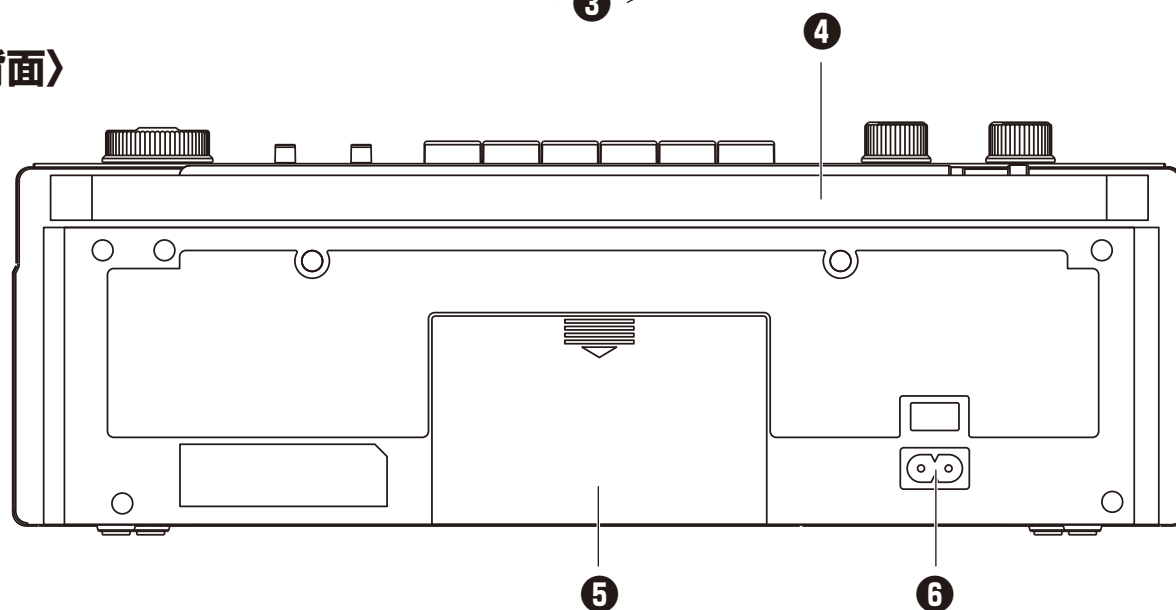
①ラジオカセット変換プレーヤー

※保護フィルムが貼られている場合は剥がしてご使用ください。

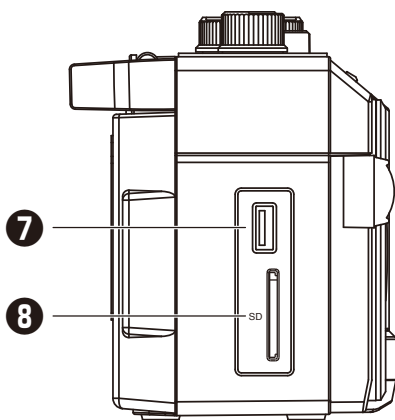
〈正面〉



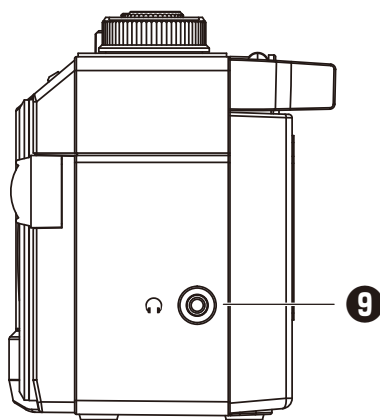
〈背面〉



〈左側面〉



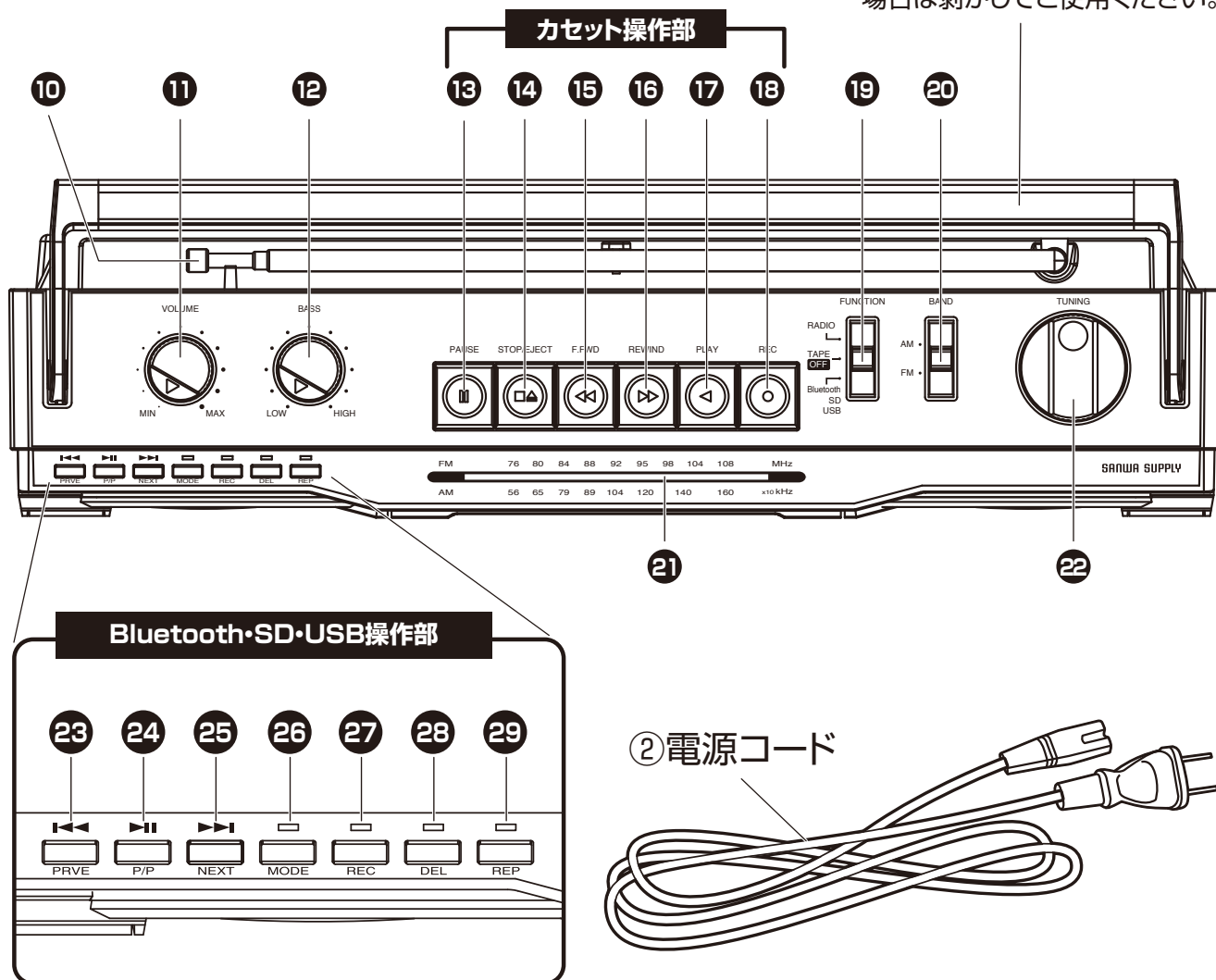
〈右側面〉



- ① カセットドア
- ② 内蔵マイク
- ③ スピーカー
- ④ ハンドル
- ⑤ 電池カバー
- ⑥ AV100V電源ソケット
- ⑦ USB Aポート
- ⑧ SDカードスロット
- ⑨ ヘッドホン端子
- ⑩ FMロッドアンテナ

〈上面〉

※保護フィルムが貼られている場合は剥がしてご使用ください。



カセット操作部

- | | |
|------------------------------|--|
| 11 VOLUMEつまみ
(音量) | 17 PLAYボタン(再生) |
| 12 BASSつまみ | 18 RECボタン(録音) |
| 13 PAUSEボタン
(一時停止) | 19 FUNCTIONスイッチ
(ラジオ/テープ/USB/
SD/Bluetooth切替え) |
| 14 STOP/EJECTボタン
(停止/取出し) | 20 BANDスイッチ
(AM/FM切り替え) |
| 15 F.FWDボタン(早送り) | 21 周波数表示 |
| 16 REWINDボタン(巻き戻し) | 22 TUNING(選局)つまみ |

Bluetooth・SD・USB操作部

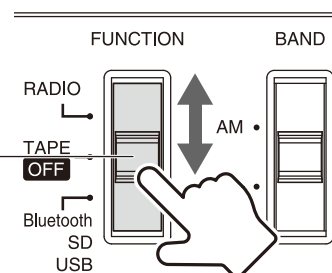
- | |
|---|
| 23 PRVEボタン(戻る・長押しで早戻し) |
| 24 P/Pボタン(再生・一時停止) |
| 25 NEXTボタン(進む・長押しで早送り) |
| 26 MODEボタン/インジゲーター
(USB・SD・Bluetoothモード切り替え) |
| 27 RECボタン/インジゲーター(録音) |
| 28 DELボタン/インジゲーター(削除) |
| 29 REPボタン/インジゲーター(繰り返し) |

3.カセットテープを再生する

- 1 FUNCTIONスイッチを「TAPE/OFF」に合わせます。

〈上面〉

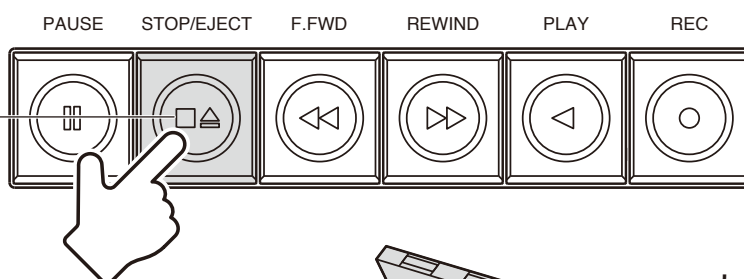
FUNCTION
スイッチ



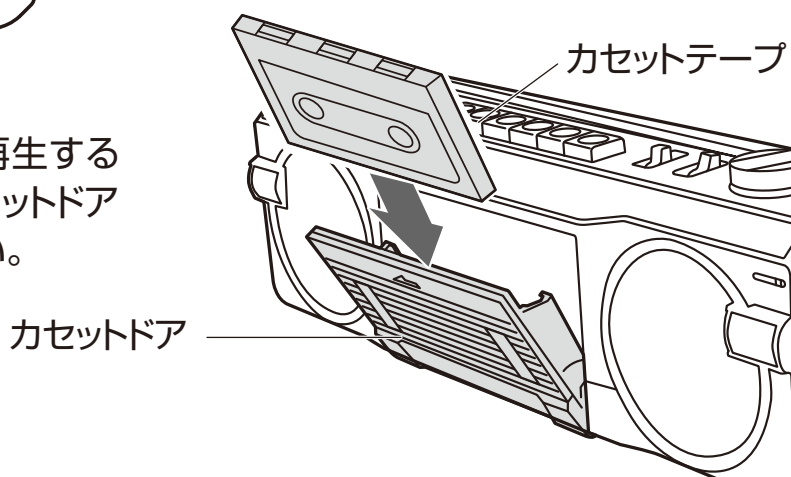
- 2 STOP/EJECTボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

〈上面〉

STOP/EJECT
ボタン



テープの見える側を上、再生する面を手前に向けて入れ、カセットドアを手で押して閉めてください。

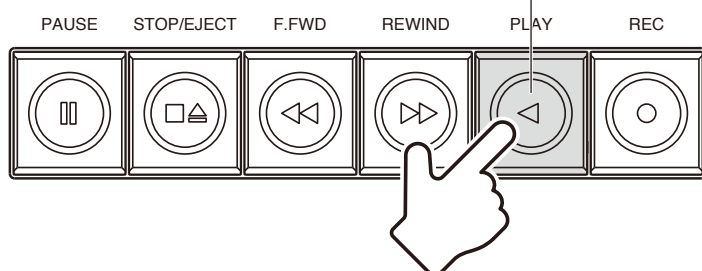


テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

- 3 PLAYボタンを押すと、テープ走行が始まります。

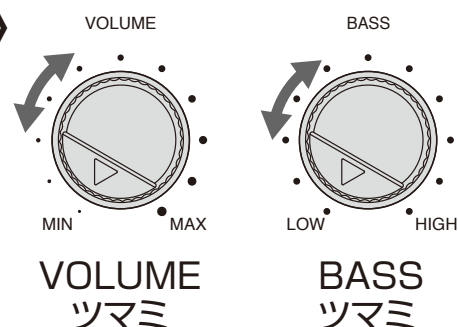
〈上面〉

PLAYボタン



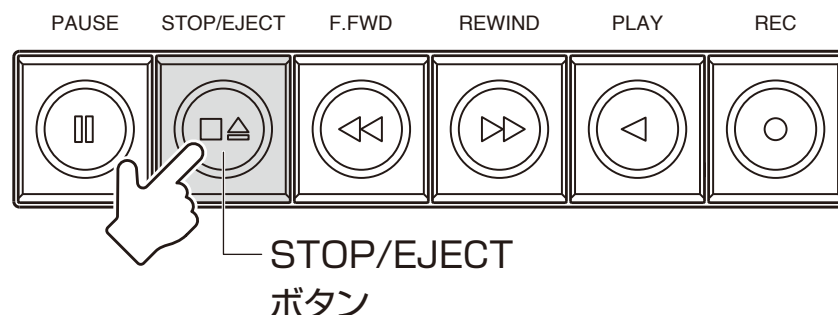
- 4 VOLUMEツマミ、BASSツマミでお好みの音量と低音域に調節します。

〈上面〉



5 STOP/EJECTボタンを押すと、テープ走行が止まります。

〈上面〉



カセット操作部の基本機能(再生時)

STOP/EJECT …………… 早送り・巻戻し・再生・録音中に押すとそれらの動作を停止し、(停止/取出し ■/▲) カセットドアが開きます。

※必ずテープ走行停止中に押してください。

F.FWD(早送り◀◀) …… 押すとテープを左側のリールに早送りします。

REWIND(巻戻し▶▶) …… 押すとテープを右側のリールに巻戻しします。

PLAY(再生◀) …………… 押すとテープを再生します。

REC(録音●) …………… 押すとテープに録音します。このボタンを押すだけで再生ボタンも一緒に押し込まれ、録音状態になります。

【セミオートストップ機能】

録音/再生時に、テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。

早送り/巻戻しでは自動的に止まりません。故障の原因となることもありますので、必ず停止ボタンで止めてください。



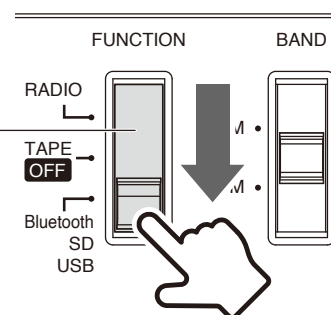
- テープ走行動作中に他動作へ移る際は、必ず「STOP/EJECT」ボタンでテープ動作を停止させてから行ってください。テープのからまり、故障や破損の原因になることがあります。
- 使い終わったら、カセットテープを取出し、ケースに入れて保管してください。長期間本機内に入れたままにすると、からみや巻きつきによって、本機およびカセットテープの故障、破損の原因となる恐れがあります。

4.USBメモリ/SDカードの音楽ファイルを再生する

- 1** FUNCTIONスイッチを「Bluetooth/SD/USB」に合わせます。MODEインジゲーターは青色点滅します。

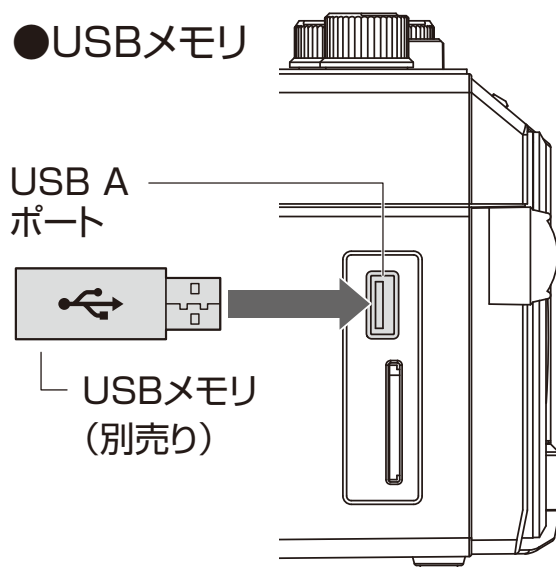
〈上面〉

FUNCTION
スイッチ



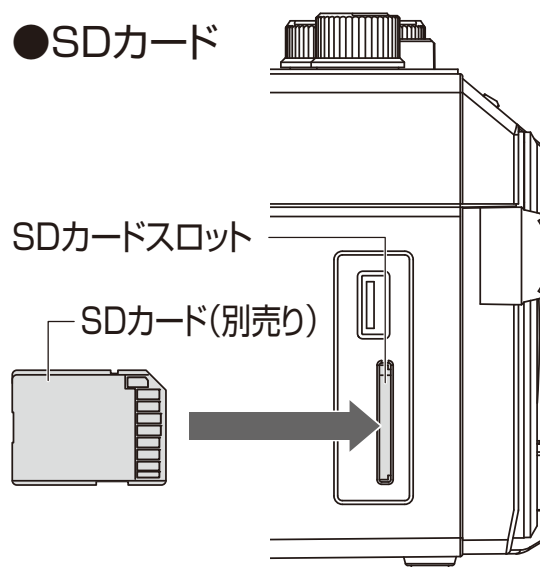
- 2** 再生するメディアを各差し込み口に差し込みます。
※接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

●USBメモリ



〈左側面〉

●SDカード



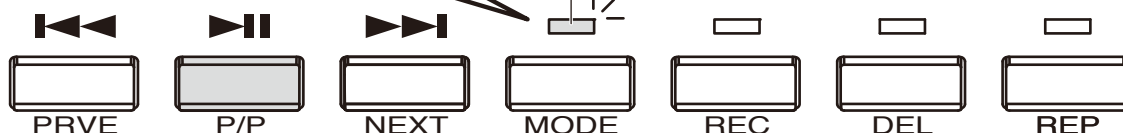
〈左側面〉

- 3** メディア内に音楽ファイルがある場合は、自動的に再生が始まります。接続音が鳴り、MODEインジゲーターは赤色点灯します。

〈上面〉

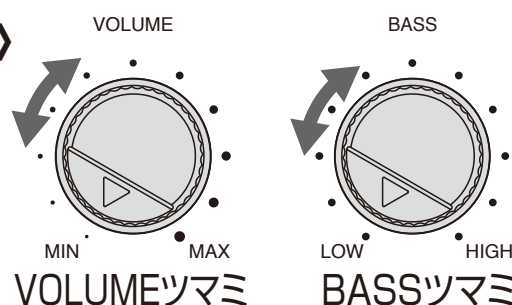
赤色点灯

MODEインジゲーター

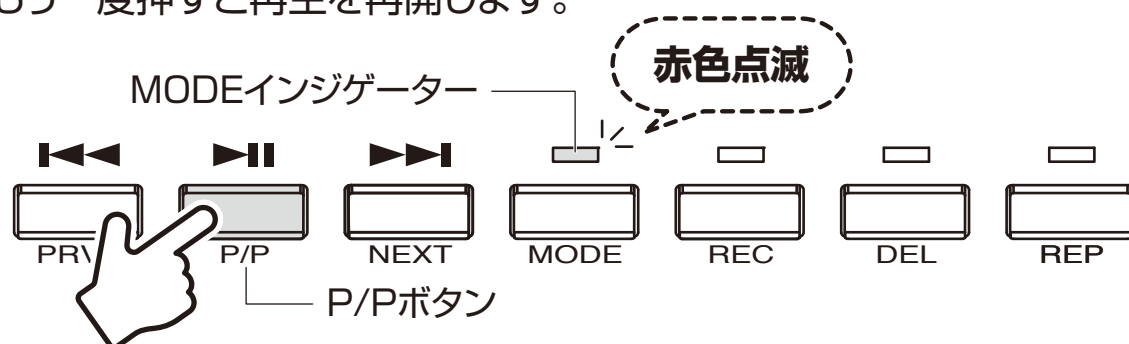


- 4** VOLUMEツマミ、BASSツマミでお好みの音量と低音域に調節します。

〈上面〉



- 5** 再生を一時停止するときはBluetooth・SD・USB操作部のP/Pボタンを押します。MODEインジゲーターは赤色に点滅します。もう一度押すと再生を再開します。



Bluetooth・SD・USB操作部の基本機能(再生時)

- PRVE(曲戻し)…… 保存順に一つ古いファイルに移動して再生します。押すたびに、さらに古いファイルへ移動します。
- P/P(再生/一時停止)… USBメモリ・SDカードに保存された音楽が順に再生されます。また、押すたびに再生と一時停止を繰り返します。
- NEXT(曲送り)…… 録音順に一つ新しいファイルに移動して再生します。押すたびに、次に新しいファイルに移動します。
- MODE …………… Bluetooth(青点灯)・SD(赤点灯)・USB(赤点灯)を(BT・SD・USB切替え) 切替えます。
- REC(録音)…………… 録音については「カセットテープからUSBメモリ/SDカードに録音する(P.14)」をご参照ください。
- DEL(削除)…………… 削除については「USBメモリ/SDカードに録音されたMP3データを削除する(P.19)」をご参照ください。
- REP(繰り返し) …… リピートなし(消灯)・1曲リピート(点滅)・全曲リピート(遅い点滅)を切替えます。

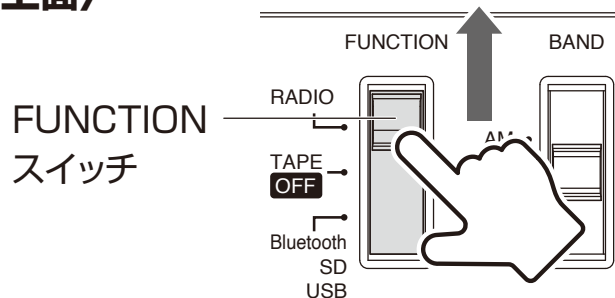


- USBメモリ/SDカード内の一番上の階層のファイルを再生します。
- 作成方法やファイルによって、再生順が変わる場合があります。
- MP3以外のファイルを含むUSBメモリ/SDカードを使用した場合、認識されない、または正常に再生できないことがあります。パソコンなどで確認し、MP3形式の音楽/音声ファイルだけを記録したUSBメモリ/SDカードをご使用ください。
- USBメモリ/SDカードの仕様/フォーマット形式やご使用状況により、正常に再生されない、またはご使用になれないことがあります。
- DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。

5.ラジオを聴く

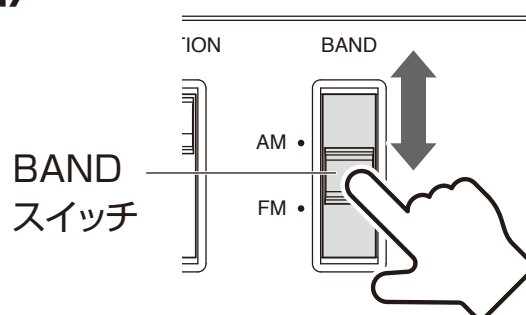
- 1 FUNCTIONスイッチを「RADIO」に合わせます。

〈上面〉



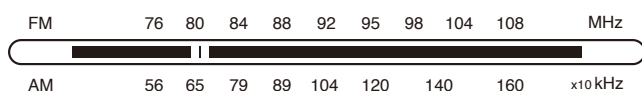
- 2 BANDスイッチでAM/FMのどちらかを選びます。

〈上面〉

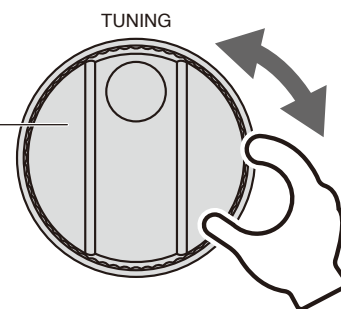


- 3 TUNINGツマミを回して聴きたい放送局を受信します。

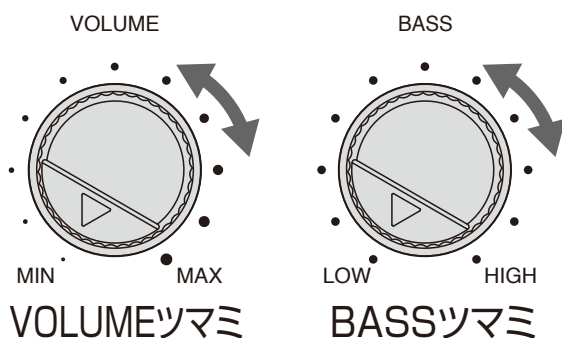
周波数表示のラジオ選局指針を見ながら調整してください。



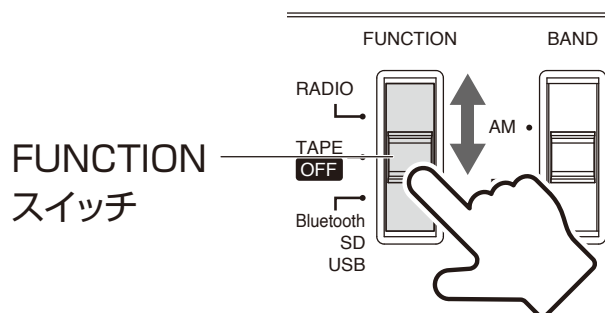
TUNING
ツマミ



- 4 VOLUMEツマミ、BASSツマミでお好みの音量と低音域に調節します。



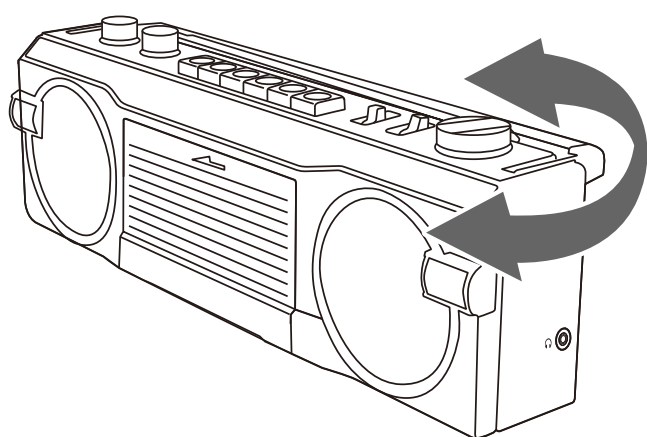
- 5 ラジオを切る時は、FUNCTIONスイッチを「TAPE/OFF」に合わせます。



受信状態を良くする方法

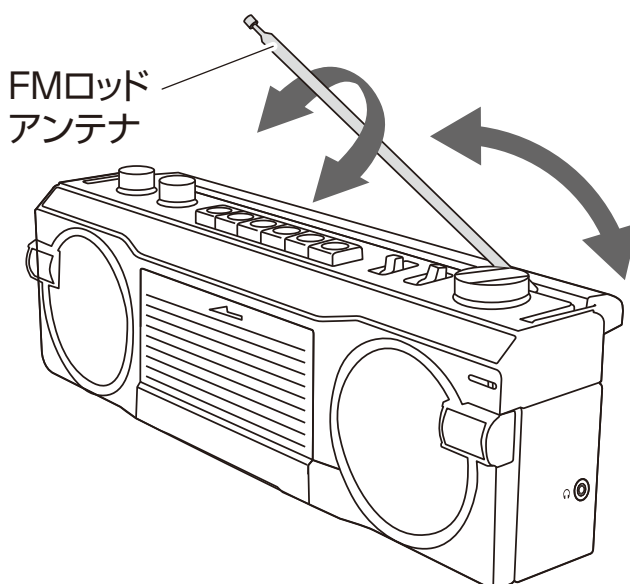
●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。



●FM放送の受信

FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。



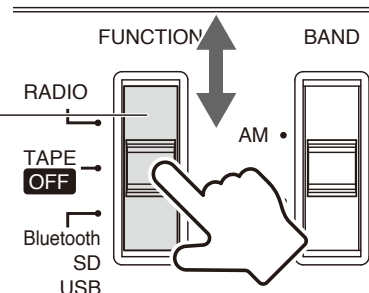
- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このような時は本機をテレビから離してください。
- 持ち運び時は、目を突いたり危険ですので、FMロッドアンテナは縮めた状態でお持ち運びください。
- 近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。

6.カセットテープからUSBメモリ/SDカードに録音する

- 1 FUNCTIONスイッチを「TAPE/OFF」に合わせます。

〈上面〉

FUNCTION
スイッチ



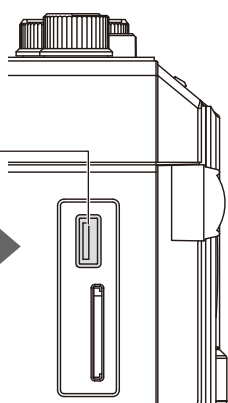
- 2 録音するメディアを各差込み口に差し込みます。
※接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

●USBメモリ

USB Aポート



USBメモリ
(別売り)

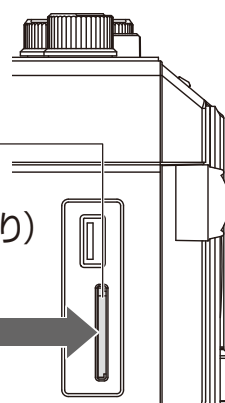
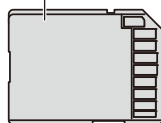


〈左側面〉

●SDカード

SDカードスロット

SDカード(別売り)



〈左側面〉

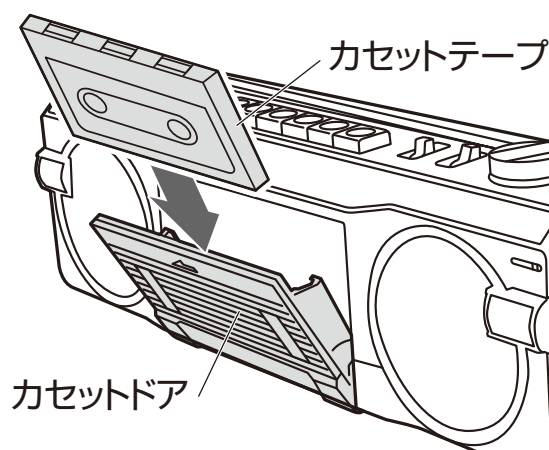
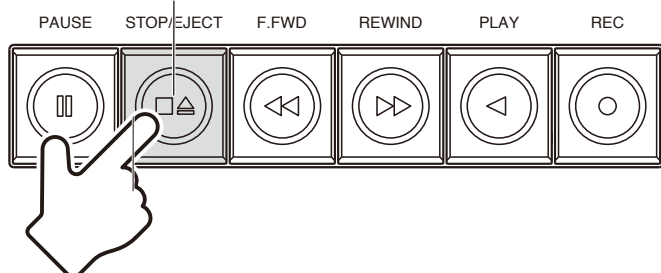


録音する媒体のみ接続してください。

USBメモリとSDカードの両方とも接続しているときは録音できません。

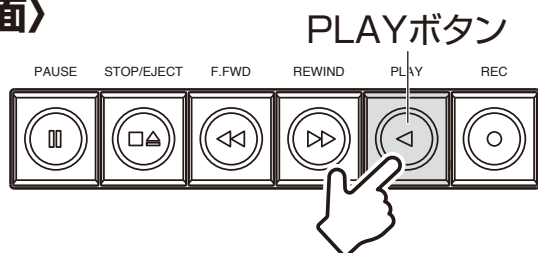
- 3 カセット操作部の「STOP/EJECTボタン」を押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

〈上面〉 STOP/EJECTボタン



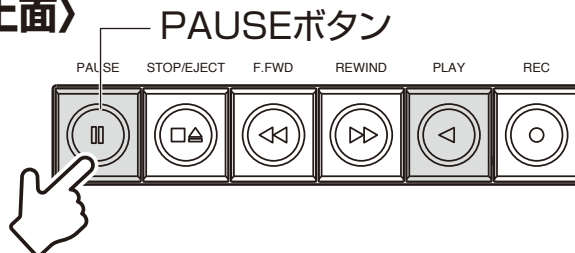
- 4** カセット操作部の「PLAYボタン」を押してテープの走行を開始させます。

〈上面〉



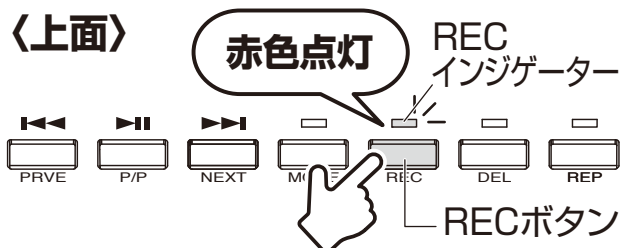
- 5** 録音したいところの前でカセット操作部の「PAUSEボタン」を押し、一時停止しておきます。

〈上面〉



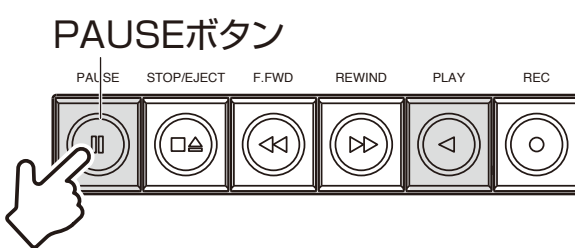
- 6** Bluetooth・SD・USB操作部の「RECボタン」を長押しします。赤色点滅中のRECインジゲーターが赤色点灯し、録音を開始します。

〈上面〉



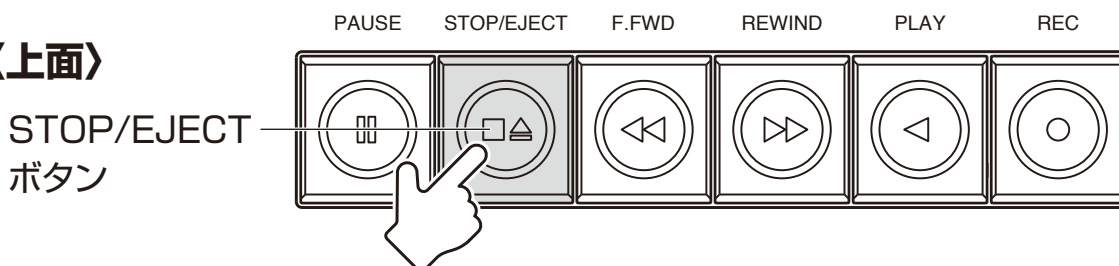
- 7** カセット操作部の「PAUSEボタン」を押して一時停止を解除し、カセットの再生を開始します。

〈上面〉



- 8** カセット操作部の「STOP/EJECTボタン」を押してテープの走行を停止させると、自動で録音も停止します。

〈上面〉



＜記録方式＞MP3

＜記録容量・時間＞約60MB/時間

＜ファイル名・フォルダ名＞

●USBメモリ・SDカード内に「JL_REC」というフォルダが自動作成され、そのフォルダ内に録音データが保存されます。

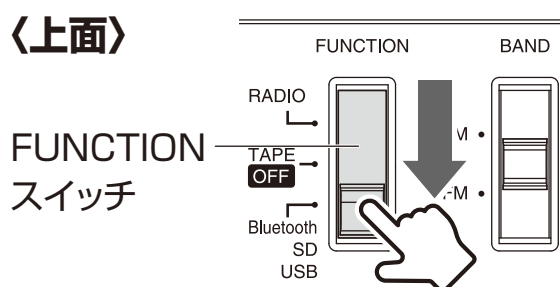
●ファイル名は「FILE_0000.MP3」「FILE_0001.MP3」のようにFILE_****.MP3の形式で保存されます。

※「****」は0000から連番で保存されます。

7.USBメモリ/SDカードからカセットテープに録音する

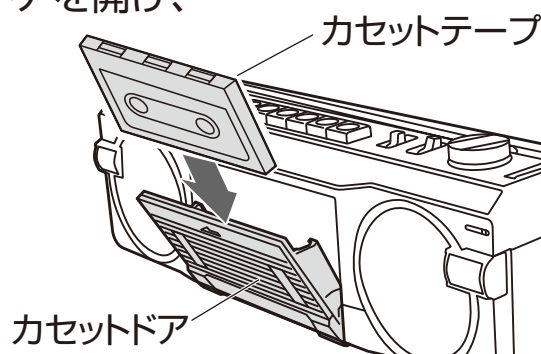
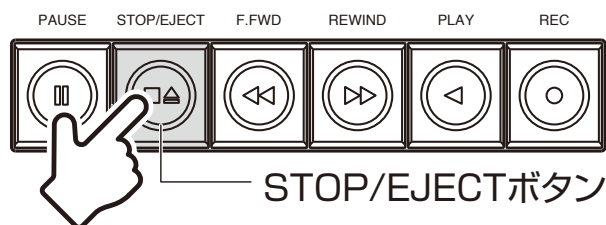
- 1 FUNCTIONスイッチを「Bluetooth/SD/USB」に合わせます。MODEインジゲーターは青色点滅します。

〈上面〉



- 2 STOP/EJECTボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

〈上面〉



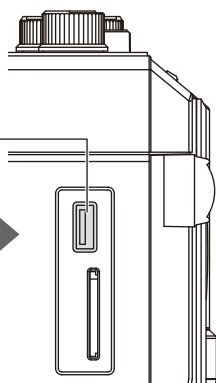
- 3 再生するメディアを各差し込み口に差し込みます。
※接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。
接続音が鳴り、MODEインジゲーターは青色点滅から赤色点灯になります。
自動的に再生が始まります。録音したいところの前でBluetooth・SD・USB操作部の「P/Pボタン」を押し、一時停止しておきます。

●USBメモリ

USB Aポート



USBメモリ
(別売り)

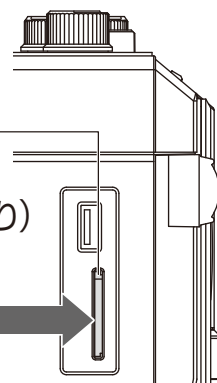
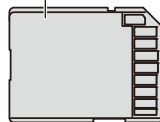


〈左側面〉

●SDカード

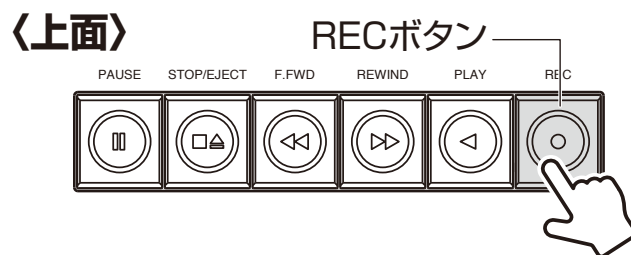
SDカードスロット

SDカード(別売り)

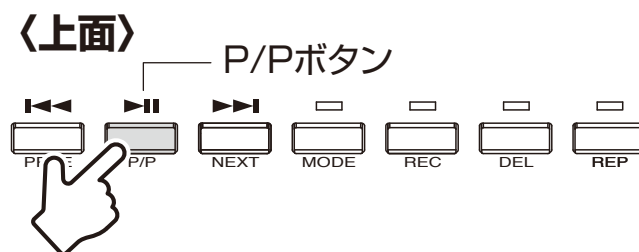


〈左側面〉

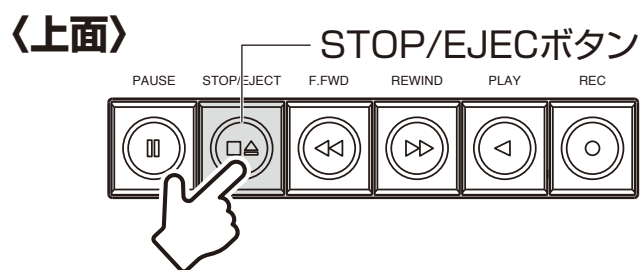
- 4** カセット操作部の「RECボタン」を押します。
※PLAYボタンも同時に押し込まれます。



- 5** Bluetooth・SD・USB操作部の「P/Pボタン」を押し、USBメモリ/SDカードの再生を再開します。



- 6** カセット操作部の「STOP/EJECTボタン」を押してテープの走行を停止させると、自動で録音も停止します。USBメモリ/SDカードの再生は続きます。

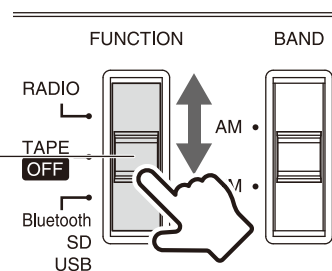


8.内蔵マイクからカセットテープに録音する

- 1** FUNCTIONスイッチを「TAPE/OFF」に合わせます。

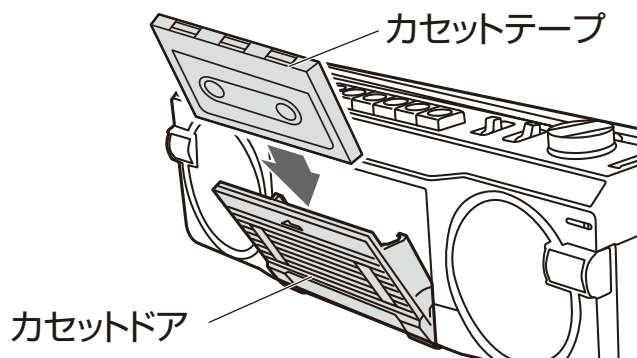
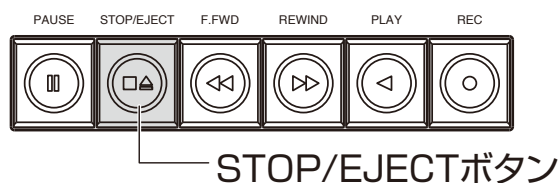
〈上面〉

FUNCTION
スイッチ



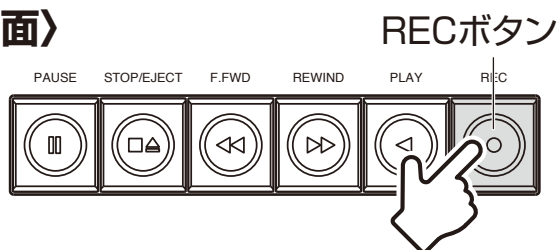
- 2** カセット操作部の「STOP/EJECTボタン」を押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

〈上面〉



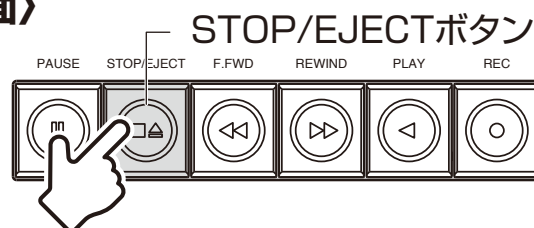
- 3** カセット操作部の「RECボタン」を押します。
※PLAYボタンも同時に押し込まれます。

〈上面〉



- 4** カセット操作部の「STOP/EJECTボタン」を押してテープの走行を停止させると、自動で録音も停止します。

〈上面〉

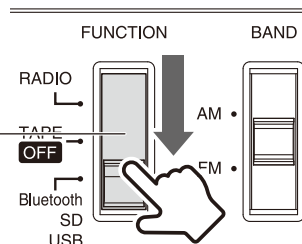


9.内蔵マイクからUSBメモリ/SDカードに録音する

- 1** FUNCTIONスイッチを「Bluetooth/SD/USB」に合わせます。MODEインジゲーターは青色点滅します。

〈右側面〉

FUNCTION
スイッチ



- 2** 録音するメディアを各差込み口に差し込みます
※接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。
接続音が鳴り、MODEインジゲーターは青色点滅から赤色点灯になります。

●USBメモリ

USB Aポート



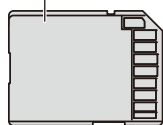
USBメモリ
(別売り)

〈左側面〉

●SDカード

SDカードスロット

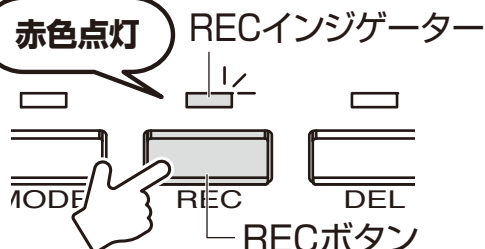
SDカード(別売り)



〈左側面〉

- 3** Bluetooth・SD・USB操作部の「RECボタン」を長押しします。

赤色点滅のRECインジゲーターが赤色点灯し、録音を開始します。
もう一度RECボタンを押すと、録音を停止します。

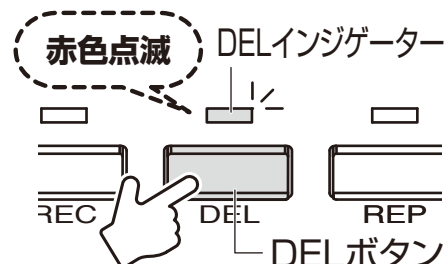


- 4** 録音したデータから再生を再開します。

10.USBメモリ/SDカードに録音されたMP3データを消去する

- 1** USBメモリ/SDカードの消去したいMP3データを再生する。
※詳しくはP.10「4.USBメモリ/SDカードの音楽ファイルを再生する」をご参照ください。

- 2** 再生中に「DELボタン」を長押しします。
消去中、DELインジゲーターが赤色点滅します。
消去されると次のデータが再生されます。

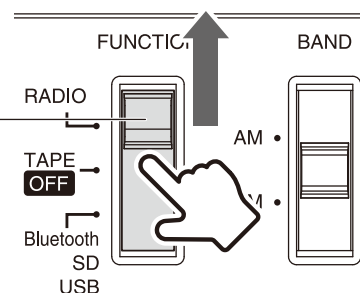


11. ラジオをカセットテープに録音する

- 1** FUNCTIONスイッチを「RADIO」に合わせます。

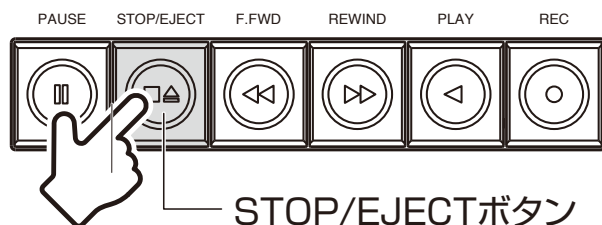
〈上面〉

FUNCTION
スイッチ

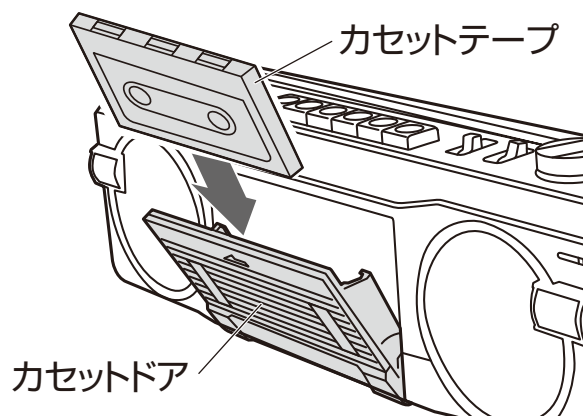


- 2** カセット操作部の「STOP/EJECTボタン」を押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

〈上面〉



STOP/EJECTボタン

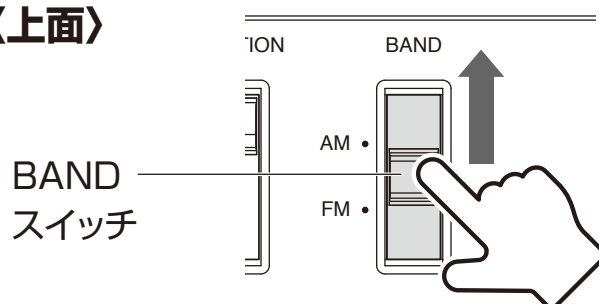


カセットテープ

カセットドア

- 3** BANDスイッチでAM/FMのどちらかを選びます。TUNINGツマミを回して聴きたい放送局を受信します。※詳しくはP.12「5.ラジオを聴く」をご参照ください。

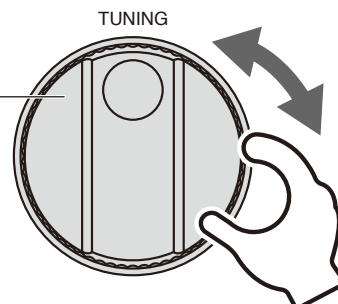
〈上面〉



BAND
スイッチ

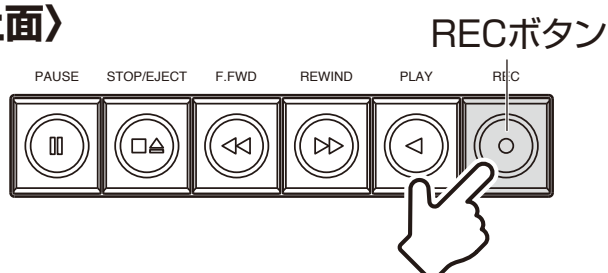
〈上面〉

TUNING
ツマミ



- 4** 「RECボタン」を押すと、録音が始まります。
※PLAYボタンも同時に押し込まれます。

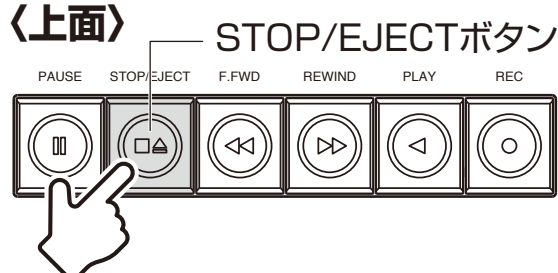
〈上面〉



RECボタン

- 5** RECを終える時は「STOP/EJECTボタン」を押します。

〈上面〉



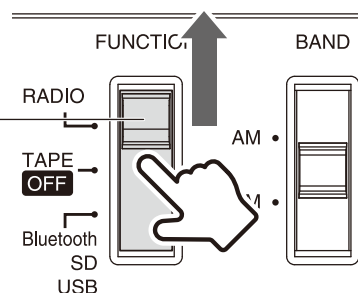
STOP/EJECTボタン

12. ラジオをUSBメモリ/SDカードに録音する

- 1 FUNCTIONスイッチを「RADIO」に合わせます。

〈上面〉

FUNCTION
スイッチ



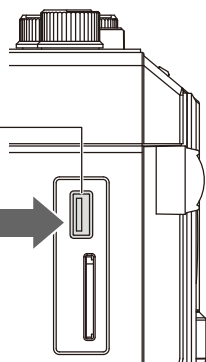
- 2 録音するメディアを各差し込み口に差し込みます。
※接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

●USBメモリ

USB Aポート



USBメモリ
(別売り)

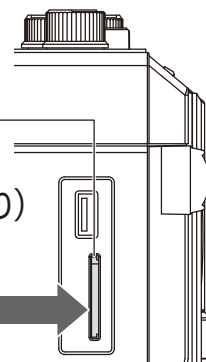
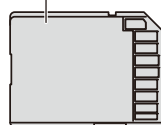


〈左側面〉

●SDカード

SDカードスロット

SDカード(別売り)



〈左側面〉

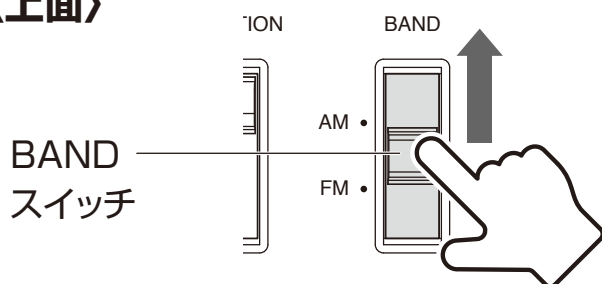


録音する媒体のみ接続してください。

USBメモリとSDカードを両方とも接続しているときは録音できません。

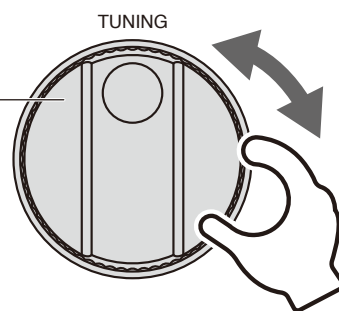
- 3 BANDスイッチでAM/FMのどちらかを選びます。TUNINGツマミを回して聴きたい放送局を受信します。※詳しくはP.12「5.ラジオを聴く」をご参照ください。

〈上面〉

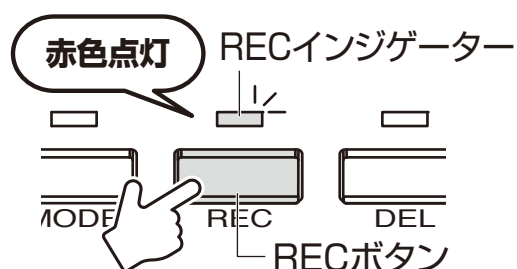


〈上面〉

TUNING
ツマミ



- 4 Bluetooth・SD・USB操作部の「RECボタン」を長押しします。
赤色点滅のRECインジゲーターが赤色点灯し、録音を開始します。
もう一度RECボタンを押すと、録音を停止します。



13. Bluetooth機器の音楽を再生する

本製品をお手持ちのスマートフォンなどBluetooth機器で使用するためには、お手持ちの機器とペアリングを行う必要があります。

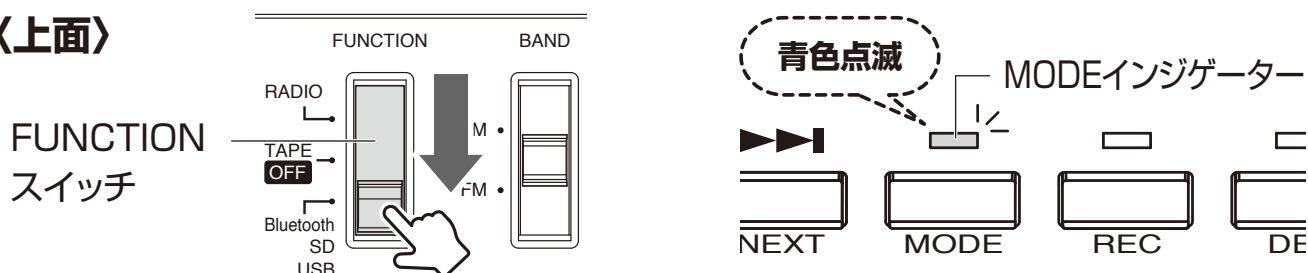
※ペアリングとは通信を行う機器(相手機器)に本製品を登録させる操作です。



- スムーズなペアリングを行うため一度全ての手順を読んでから実際の操作を行ってください。途中操作で間違った場合、正常にペアリングできなくなります。その際は一度電源を切り、再度手順を確認してからペアリングを行ってください。
- 同時に他の機器と同じプロファイルで接続(使用)することはできません。
- スマートフォンの操作画面は参考です。ご使用のスマートフォンのOS、機種により画面は異なります。
- Bluetoothモードからペアリングがしにくい、400-MEDI050が発見しにくいときは、本製品のFUNCTIONスイッチを「TAPE/OFF」にしてください。

- 1** FUNCTIONスイッチを「Bluetooth/SD/USB」に合わせます。Bluetooth・SD・USB操作部のMODEボタンを押してBluetoothモードにしてください。MODEインジゲーターは青色点滅します。

〈上面〉



- 2** スマートフォン・タブレットでペアリングを行ってください。

※ペアリング接続・設定方法はお使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

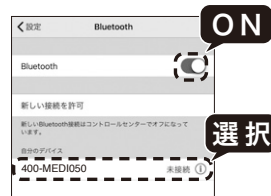
※パスキーを要求された場合は、4桁の数字「0000(ゼロ4つ)」を入力してください。

iOSの場合

1. [設定]→[Bluetooth]を選択します。



2. 「Bluetooth」をONにし、「400-MEDI050」を選択します。

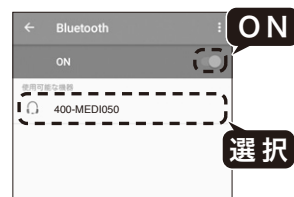


Androidの場合

1. [設定]→[Bluetooth]を選択します。

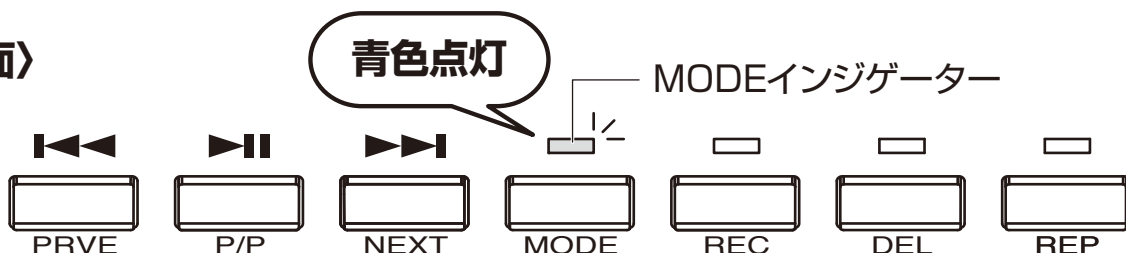


2. [Bluetooth]をONにし、「400-MED1050」を選択します。



3 接続が完了すると接続音が鳴り、MODEインジゲーターは青色点灯します。

〈上面〉



各機器との接続について

一度ペアリングすると、機器の電源をOFFにしても設定が残ります。再度電源をONにすると、そのまま使用できます。接続が切断されている場合は、接続またはペアリングを行ってください。

4 本機から音声を再生します。

接続したBluetooth機器を再生すると本機から音声再生されます。

●Bluetooth・SD・USB操作部のボタンでBluetooth機器のコントロールができます。

※お使いのBluetooth機器によっては正しく操作できない場合があります。

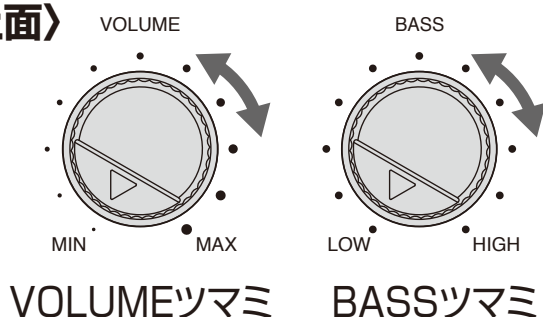
※基本音量が小さい場合、正しく再生されないことがあります。

〈上面〉



5 VOLUMEツマミ、BASSツマミで好みの音量と低音域に調節します。

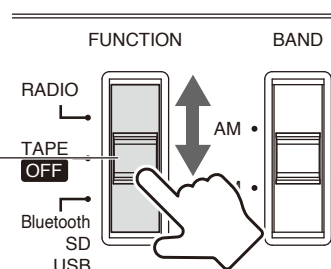
〈上面〉



6 接続を切る時は、FUNCTIONスイッチを「TAPE/OFF」に合わせます。

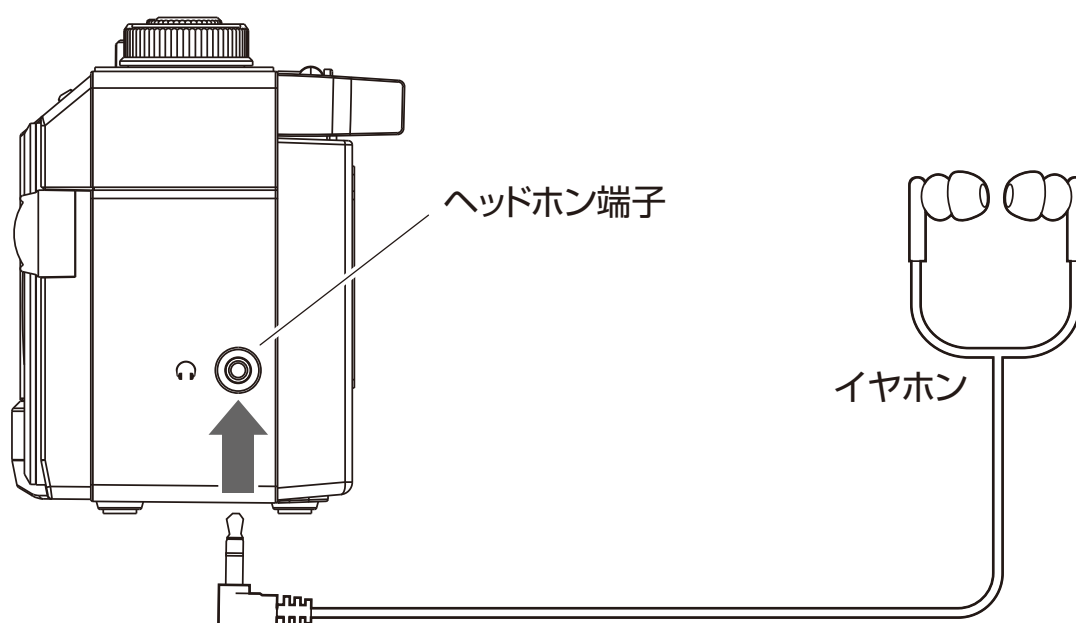
〈上面〉

FUNCTION
スイッチ



14.イヤホン・ヘッドホンの使い方

- 別売のイヤホン・ヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。イヤホン・ヘッドホンをつなぐと、本製品のスピーカーからの音は聴こえなくなります。
- イヤホン・ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントでご使用时、イヤホン・ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音)耳障りになる時があります。その場合は乾電池でご使用ください。



15.お手入れの仕方

※お手入れの前は、あらかじめ電源コードや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行ってください。

ヘッド部の清掃について

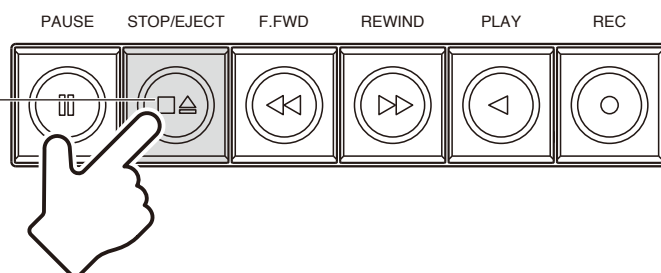
ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ホコリなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残る、などの症状が出ます。
定期的にヘッド部を清掃してください。

■ ヘッド部の清掃方法

STOP/EJECTボタンを押してカセットドアを開け、市販のクリーニングキットでヘッドやピンチローラー、キャプスタンなどの汚れを拭き取ります。
なお、内部に付いたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。

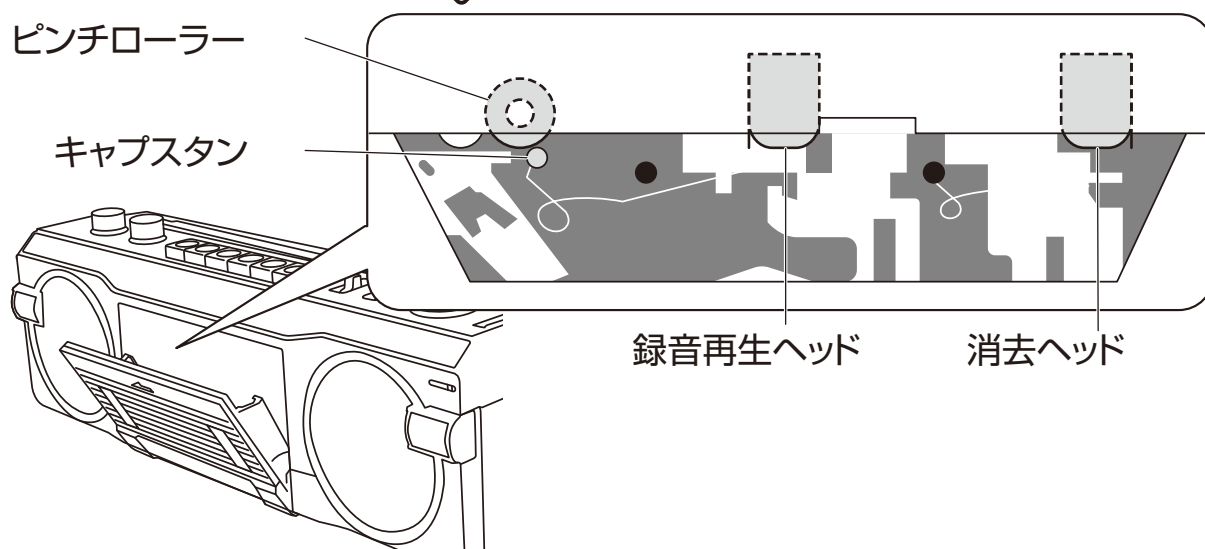
〈上面〉

STOP/EJECTボタン



ピンチローラー

キャプスタン



ヘッドの消磁を行うには市販の消磁器をご使用ください。カセットタイプの消磁器をご使用になる時は、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。
詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。

※本機の消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

キャビネットの清掃

- キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布に付けて拭き、その後に乾拭きをしてください。
- 電源コードのプラグにホコリがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることもあります。

16.故障かな?と思ったら…

	症 状	チ ャ ッ ク 項 目
共 通 部	動作しない	電源コードが外れて(ゆるんで)いませんか?
		乾電池が正しく入っていますか?
		乾電池が消耗していませんか?
	音が出ない	音量が最小になっていませんか?
		ヘッドホン端子にヘッドホンが挿し込まれていませんか?
		切替えスイッチが適切な位置になっていますか?
カ セ ッ ト 部	カセットドアが閉まらない	カセットが逆向きになっていませんか?
		操作ボタンを押していませんか?
	テープ走行が不安定 テープが走行しない	テープがたるんでいませんか?
		乾電池が消耗していませんか?
	テープが機械に巻きつく	ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか?
		テープがたるんでいませんか?
		カセットドアがきちんと閉まっていますか?
	録音ボタンが押せない	録音しようとするカセットの誤消去防止用のツメが折れていませんか?
		カセットドアがきちんと閉まっていますか?
		カセットが入っていますか?
	前の録音を完全に 消去できない 録音した音がひずむ	ハイポジション(TypeⅡ)やメタルポジション(TypeⅣ)を使っていますか?
		消去ヘッドが汚れていませんか?
	雑音がひどい、 音が震える 音飛びがする、 高音が出ない	ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか?
		テープがたるんでいませんか?
		乾電池が消耗していませんか?
	録音できない	ヘッドが汚れていませんか?
		録音防止用のツメが折れていませんか?

ラジオ部	ラジオ時に雑音が入る	近くで携帯電話を使用していませんか？ (携帯電話を本機から離して使用してください)
		テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このような時は本機をテレビから離してください。
USBポート部	USBメモリを認識しない	USBポートに正しく接続されていますか？
		USBメモリに音楽(音声)ファイルが記録されていますか？
		USBメモリ内のデータが壊されていませんか？
		1度USBメモリを取出し、再度接続してお試しください。
	正しく再生されない	MP3形式以外のデータが含まれていませんか？ 該当ファイルをパソコンなどで削除してみてください。
	USBメモリを挿し込めない	間違った向きで挿し込もうとしてませんか？
SDカードスロット部	SDカードを認識しない	SDカードスロットに正しく接続されていますか？
		SDカードに音楽(音声)ファイルが記録されていますか？
		SDカード内のデータが壊されていませんか？
		1度SDカードを取出し、再度接続してお試しください。
	正しく再生されない	MP3形式以外のデータが含まれていませんか？ 該当ファイルをパソコンなどで削除してみてください。
	SDカードを挿し込めない	間違った向きで挿し込もうとしてませんか？
Bluetooth部	音が出ない	Bluetooth機器と本機との距離が離れすぎていませんか？
		Bluetooth機器と正しくペアリングされていますか？
		本機はSCMS-Tには対応していません。
	ペアリングできない	Bluetooth機器と本機の間には無線LANや電子レンジなどの機器がありませんか？ 別のBluetooth機器が接続されていませんか？

※点検後、なお異常がある場合は販売店までご連絡ください。

17.仕様

接続端子			
給電用端子	2Pメガネプラグメス	メモリー接続端子	USB Aポート
記録仕様			
音声記録方式	MPEG-1(mp3)		
対応メディア	SDカード、SDHCカード、USBメモリ		
サンプリングレート	48kHz	対応メディア容量	8～32GB
音声ビットレート	128kbps	対応メディアファイルシステム	FAT32
対応テープ	ノーマルポジション(Type I)	記録時間・容量	約60MB/時間
製品仕様			
トラック方式	2トラック、2チャンネルステレオ		
周波数範囲	カセットテープ 再生時:60～10,000Hz 録音・再生時:100～10,000Hz USBメモリ・SDカード 再生時:100～10,000Hz 録音・再生時:125～10,000Hz		
ラジオ受信周波数	FM:76～108MHz、AM:530～1,600kHz		
適合規格	Bluetooth 5.3		
Bluetooth周波数範囲	2.402～2.480GHz		
通信距離	約10m	伝送方式	GFSK
対応プロファイル	A2DP、AVRCP		
対応コーデック	SBC	S C M S - T	非対応
アンテナ	FM:ロッドアンテナ、AM:内蔵アンテナ		
スピーカー	4Ω3W×2		
電源	AC100V 50/60Hzまたは、単二乾電池 ×4 ※乾電池は付属していません。		
使用時間	テープ再生:約48時間 USBメモリ、SDカード再生:約57時間 FMラジオ再生:約52時間 AMラジオ再生:約54時間 ※乾電池を使用し音量50%で再生時の目安		
対応入力機器	Bluetooth対応のスマートフォン、パソコン、タブレットなど		
対応出力機器	3.5mmヘッドホンジャックに接続可能なイヤホン、ヘッドホン、スピーカー		
セット内容	本体、電源コード、取扱説明書・保証書		
消費電力	約12W※動作時	ケーブル長	約1.5m
サイズ・重量	W340×D82.5×H120mm・約1.5kg		

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
サンワサプライ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

18.保証規定

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

保 証 書		サンワサプライ株式会社	
型 番: 400-MEDIO50 シリーズ		シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 1年		お買い上げ年月日 年 月 日	

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

ver.1.1

サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381
CE/BB/MZDaNo